

九州厚生局長 殿

学校法人 久留米大学
理事長 神代

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	132.88 人
--------	----------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数 単位 人

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	521		521.0	看護業務補助者	15	診療エックス線技師	
歯科医師	13		13.0	理学療法士	22	臨床検査技師	75
薬剤師	56		56.0	作業療法士	8	衛生検査技師	
保健師			0.0	視能訓練士	6	その他	
助産師	38		38.0	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	975	2.4	977.4	臨床工学技士	15	医療社会事業従事者	12
准看護師	6		6.0	栄養士	1	その他の技術員	14
歯科衛生士	3	0.5	3.5	歯科技工士	2	事務職員	102
管理栄養士	12		12.0	診療放射線技師	52	その他の職員	55

(注)1 報告?

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	824.8 人	18.1 人	842.9 人
1日当たり平均外来患者数	1,827.6 人	80.0 人	1,907.6 人
1日当たり平均調剤数			1,282.6 剤

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	血管内皮前駆細胞を用いた肝硬変症に対する肝臓再生療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 非代償性肝硬変症患者を対象とし、患者自身の末梢血から採取した幹細胞(CD34陽性細胞)移植による肝臓再生療法を行っている。適応基準は、同意取得時の年齢が20歳以上、75歳以下(性別不問)、血清アルブミン濃度が3.0g/dL未満の患者である。安全性について、現在までに重篤な有害事象の発生はない。有効性について、血清アルブミン値の上昇やPT-INR値の低下、門脈血流の増加、内服利尿剤の減量・中止等の結果が得られている。			
医療技術名	ハイブリッド訓練システムによる非アルコール性脂肪性肝障害の治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ハイブリッド訓練システムは、宇宙ステーション滞在にともなう筋萎縮予防を目的に開発された電気刺激と自発運動による新規運動療法である。当科では、食事療法や運動療法を3ヶ月以上指導したにも関わらず肝障害の改善が認められない非アルコール性脂肪性肝障害患者に対して、ハイブリッド訓練システムを用いた治療を行っている。これまでに12症例に実施し、明らかな有害事象は認められていない。また、血清ALT値やIL-6値の低下、インスリン抵抗性や脂肪肝の改善といった有効性が確認されている(J Gastroenterol. 2011;46:746-57)。			
医療技術名	脳保護を目的とした低体温療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 体温を経度低体温に維持することで心肺停止蘇生後や重症頭部外傷での脳保護を狙う医療技術。導入期・維持期・復温期を通して沈静下に人工呼吸器管理・循環管理を行うが、無気肺や肺炎、電解質バランスや尿量異常に注意しながらきめ細かい集中治療のための装置とマンパワーを必要とする。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	87人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	43人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	82人	・原発性胆汁性肝硬変	68人
・全身性エリテマトーデス	161人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	12人
・再生不良性貧血	38人	・混合性結合組織病	31人
・サルコイドーシス	106人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	19人	・特発性間質性肺炎	31人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	158人	・網膜色素変性症	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	73人	・プリオン病	1人
・肺性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	19人
・潰瘍性大腸炎	224人	・神経線維腫症	13人
・大動脈炎症候群	37人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	61人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	47人	・ライソゾーム病	10人
・クローン病	88人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	95人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	200人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(Willis動脈輪閉塞症)	32人	・ミトコンドリア病	16人
・ゲナー肉芽腫症	7人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	34人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・黄色靭帯骨化症	11人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	64人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
※別紙1の通り				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計155

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
※別紙2の通り			

計 205

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パーキンソン病の画像バイオマーカーの開発	谷脇 考恭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
「自己炎症」疾患の病態解析を利用した「自然炎症」における分子基盤の解明	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	3,600,000	補委 文部科学省
新しい自己炎症疾患から学ぶポストゲノム時代の蛋白機能解析	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
COPD、うつ病および睡眠障害併存例の疫学と全身性炎症の関与に関する研究	川山 智隆	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
抗IL-18受容体抗体を用いた炎症性呼吸器疾患治療研究	今岡 治樹	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
血管内皮細胞由来IL-33による血管炎病態形成メカニズムの解析	海江田 信二郎	呼吸器・神経・膠原病内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
非小細胞肺癌におけるc-METを標的とした新規免疫療法の開発	東 公一	呼吸器・神経・膠原病内科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
安静時機能的MRIでの記憶表象形成過程測定によるアルツハイマー病早期診断法の開発	山下 謙一郎	呼吸器・神経・膠原病内科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
呼吸不全に関する調査研究	星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	600,000	補委 厚生労働省
関節リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	2,000,000	補委 厚生労働省
家族性地中海熱の病態解明と治療指針の確立	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	300,000	補委 厚生労働省
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	2,000,000	補委 厚生労働省
TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	500,000	補委 厚生労働省
地域蓄積・収集した稀少疾患の系統的原因究明	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委 厚生労働省
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	佐田 通夫	消化器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	鳥村 拓司	消化器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
ヒトTC-4アイソフォームによる造腫瘍能獲得は低酸素依存性である	古賀 浩徳	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
HCV IRES領域の遺伝子変異解析を用いたC型慢性肝炎治療効果予測法の確率	緒方 啓	消化器内科	650,000	補委 文部科学省
CD34陽性細胞移植による肝硬変症に対する効率的な肝再生促進法の開発	中村 徹	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
胆管細胞癌浸潤における癌組織間質構築の意義	桑原 礼一郎	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
粘膜再生を目的とした新しい白血球除去療法の確立	山崎 博	消化器内科	1,300,000	補委 文部科学省
細胞系譜の追跡による大動脈解離の病態解明	青木 浩樹	循環器病研究所	2,340,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈解離の分子メカニズム:細胞間相互作用による大動脈壁強度制御機構の解明	青木 浩樹	循環器病研究所	7,280,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
医療従事者の職場における活性・再生を目指したメンタルヘルス対策に関する検討	豊増 功次	健康・スポーツ科学センター	2,550,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
持続的潜在性心筋障害は一般健常集団における心血管リスクとなるのか?	新山 寛	医療センター循環器内科	1,430,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
一般健常集団における心血管リスクとしての血小板・内皮マイクロパーティクル	安岡 逸	心臓・血管内科	910,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
血中フェチリンA高値は、脳梗塞発症の危険因子であるかの縦断研究	足達 寿	地域医療連携講座	1,820,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
心筋障害ストレスに対する心筋保護機構:SOCSによる細胞内シグナル調節の視点から	安川 秀雄	循環器病センター	1,820,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
老化指標のDHEASと認知機能、睡眠との疫学調査	榎本 美佳	心臓・血管内科	910,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業
多点マッピングシステムを用いた心臓再同期療法有効患者の検出	稲毛 智仁	心臓・血管内科	1,950,000	補委 文部科学省:科学研究費助成事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
FDG-PET/CTを用いた冠動脈ステント留置部位の分子病態の解明	田原 宣広	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心血管病の予防としてのレジスタンス運動プログラムの開発	吉田 典子	健康・スポーツ科学センター	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血圧変動による高血圧性臓器障害増悪のkey molecule解明	甲斐 久史	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血管内皮前駆細胞の投与組織環境改善で治療効果の増強を図る次世代型血管新生療法	佐々木 健一郎	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
動脈管の器質的閉鎖における分子機構解明と治療標的分子の同定	梶本 英美	心臓・血管内科	1,170,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血管内皮前駆細胞への低強度パルス型超音波刺激による新しい血管新生療法の開発	外山 康之	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
短時間一過性四肢虚血がもたらす心筋虚血耐性メカニズムの解明	大場 豊治	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血清NAG活性は総死亡、特に脳心血管死の予測因子となるかの前向き疫学研究	吉川 邦子	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
Endothelin-1(ET-1)高値は腎不全悪化の予知因子である	横井 加奈子	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
色素上皮由来因子受容体の機能性アプタマーによる抗動脈硬化作用	陣内 裕子	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血小板由来膜小胞体による血管内皮前駆細胞機能増強効果を応用した血管新生療法の開発	大塚 昌紀	心臓・血管内科	1,430,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血管内皮前駆細胞の機能強化と磁気誘導による次世代型血管新生療法の開発	仲吉 孝晴	心臓・血管内科	1,430,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈解離の分子病態メカニズム解明:IL-6によるマクロファージ分化制御	大野 聡子	心臓・血管内科	2,340,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈瘤における血管修復機構の解明～血管平滑筋に着目した治療法の開発～	平方 佐季	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心筋虚血再灌流障害における SOCS3欠損によるシグナル活性とその役割及び有効性	永田 隆信	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
下肢虚血組織下の血管新生における、骨格筋細胞の役割	大島 英樹	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心筋梗塞後の心筋リモデリングにおける炎症性サイトカインIL17の役割	南 知子	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
高感度トロポニンTは心房細動新規発症を予測するか?	姉川 敬裕	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
メタボリック症候群進展の予測因子としての肝細胞増殖因子の意義	塚川 絵理	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血清HGF濃度が将来の癌発症の予測因子となるか?	大塚 麻樹	心臓・血管内科	3,640,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
閉経における慢性腎臓病が血管石灰化を助長する分子メカニズムの解明	打和 大幹	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
難治性心血管病の分子機構解明と新規治療法開発のための研究拠点形成	今泉 勉	心臓・血管内科	41,948,000	補委	文部科学省:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
特発性心筋症に関する調査研究班	今泉 勉	心臓・血管内科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金:難治性疾患克服研究事業
大動脈解離:分子病態解明への挑戦	青木 浩樹	循環器病研究所	5,000,000	補委	公益財団法人 上原記念生命科学財団
FDG-PET/CTを用いた冠動脈ステント留置部位の分子病態の解明	田原 宣広	心臓・血管内科	1,200,000	補委	石橋学術振興基金
短時間四肢虚血による心筋保護メカニズムの解明	大場 豊治	心臓・血管内科	400,000	補委	学術研究振興基金
慢性腎不全の血管石灰化と内皮機能異常の共通制御の機構解明と治療標的分子の同定	梶本 英美	心臓・血管内科	1,000,000	補委	公益財団法人 木村記念循環器財団
メタボリック症候群におけるCKD発症の分子基盤の解明	奥田 誠也	腎臓内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
RAGEをターゲットとした糖尿病性腎症・RPGNの新規治療法の開発	深水 圭	腎臓内科	780,000	補委	日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性腎障害における非対称性ジメチルアルギニンの生命予後、腎予後に果たす役割の検討	上田 誠二	腎臓内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
進行性腎障害におけるSOCSの役割の解明	小池 清美	腎臓内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
AGEsのエピジェネティック異常を介した糖尿病性腎症発症機序についての検討	甲斐田 裕介	腎臓内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームの構築に関する研究	内村 直尚	神経精神医学	1,000,000	補委 精神・神経疾患研究開発費
睡眠障害患者のQOLを改善するための科学的根拠に基づいた診断治療技術の開発	内村 直尚	神経精神医学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:障害者対策総合研究事業(三島和夫班)
睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドライン	内村 直尚	神経精神医学	200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:障害者対策総合研究事業(三島和夫班)
身体疾患を合併する精神疾患患者の診療の質の向上に資する研究	内村 直尚	神経精神医学	700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:障害者対策総合研究事業(伊藤弘人班)
内科診療所受診者における睡眠とうつの関連に関する研究(うつと睡眠に関する調査)	内村 直尚	神経精神医学	3,980,928	補委 静岡県受託研究費
内科診療所受診者における睡眠とうつの関連に関する研究(うつと睡眠に関する追跡調査)	内村 直尚	神経精神医学	4,135,215	補委 静岡県受託研究費
大うつ病に対する新規抗うつ剤の最適使用戦略を確立するための大規模無作為割り付け比較試験	内村 直尚	神経精神医学	2,750,000	補委 寄付金:研究助成金(古川壽亮班)
遺伝子型に基づくカルバマゼピンのオーダーメイド投薬の検証に関する前向き臨床研究	石田 重信	神経精神医学	1,100,000	補委 文部科学省委託事業「がん薬物療法の個別適正化プログラム」『遺伝子型検査を用いた薬物療法の個別適正化』に関する共同研究
NIRSを用いたうつ病復職支援プログラムにおける精神生理学的評価の有用性	小路 純央	神経精神医学	200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(C)
内科診療所におけるうつ病診察ガイドラインの作成	藤枝 恵	神経精神医学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
解離の多次元アセスメントと心理援助法の開発	舛田 亮太	神経精神医学	800,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
大学病院における精神生理性不眠症患者への認知行動療法と効果検証	舛田 亮太	神経精神医学	300,000	補委 (財)メンタルヘルス岡本記念財団:研究助成金
小児重症心身障害児の胃食道逆流症に対する新しい診断システムの構築	深堀 優	小児外科	3,900,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金:若手研究(B)
国内外手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治療切除大腸癌術後補助療法の確立	白水 和雄	外科	300,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
手術手技の最適化による標準治療確立のための他施設共同研究	白水 和雄	外科	600,000	補委 独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費の
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	永田 見生	整形外科	7,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難病、頸椎後縦靭帯骨化症特異性タンパク質の発見とそのメカニズムの解明	永田 見生	整形外科	700,000	補委 文部科学省研究費補助金基盤研究(C)
新規ペプチドOBAPの生理活性の検討	福嶋 信広	整形外科	1,500,000	補委 文部科学省研究費補助金基盤研究(C)
世界初、幹細胞由来靭帯組織作製成功による靭帯骨化ブロック製剤開発研究	津留 美智代	整形外科	800,000	補委 文部科学省研究費補助金基盤研究(C)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	平岡 弘二	整形外科	240,000	補委 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
国際宇宙ステーション利用ライフサイエンス及び宇宙医学分野選定 国際宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士の筋骨格筋系廃用萎縮へのハイブリッド訓練法の効果	志波 直人	リハビリテーション部	2,442,718	補委 財団法人日本宇宙フォーラム

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
軟部組織腫瘍発生・増殖に影響するマスト細胞の機能検索	山内 俊彦	形成外科・顎顔面外科	910,000	補委 日本学術振興会 科学研究費：基盤研究(C)
脳動脈壁検体プロテオミクス解析を中心としたもやもや病の病因解析研究	森岡 基浩	脳神経外科	1,820,000	補委 文部科学省科学研究費：基盤研究(C)
直接血管吻合によらない脳血流改善治療法の開発	森岡 基浩	脳神経外科	65,000	補委 文部科学省科学研究費：基盤研究(C)(大森雄樹班)
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドフクチンの第三相臨床研究	寺崎 瑞彦	脳神経外科	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(伊東恭悟班)
各種自己抗体を介したラミニン・インテグリン接着機構障害による水疱形成機序の解析	橋本 隆	皮膚科	2,800,000	補委 文科省科研費(挑戦的萌芽研究)
皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究	橋本 隆	皮膚科	60,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
多種類の自己免疫性疾患の検討による自己免疫発症機序の解明と新規治療法の開発	橋本 隆	皮膚科	45,000,000	補委 公益財団法人 武田科学振興財団
ヒトMC1Rシグナルの次世代シーケンシングとChIPアレイによる解析	古村 南夫	皮膚科	4,000,000	補委 文科省科研費(基盤研究(C)(一般))
世界初の新規樹立細胞株による基礎的研究：乳房外ページェット病の抗男性ホルモン療法	辛島 正志	皮膚科	3,400,000	補委 文科省科研費(基盤研究(C)(一般))
アトピー性皮膚炎におけるフィラグリン遺伝子変異の人種間多様性と自然免疫異常への関与	濱田 尚宏	皮膚科	2,000,000	補委 公益財団法人 かなえ医薬振興財団(アジア・オセアニア交流研究助成金)
全エクソンシーケンスによる遺伝性皮膚疾患の新規原因遺伝子の探索	濱田 尚宏	皮膚科	3,000,000	補委 公益財団法人 武田科学振興財団(2012年度 医学系研究奨励)
各種表皮内分子は、どの程度径皮吸収に関与しているのか?：表皮遺伝病患者から樹立した三次元培養皮膚を用いた研究	濱田 尚宏	皮膚科	1,200,000	補委 財団法人 日本リディアオリリー協会(平成24年度指定課題研究助成金)
疱疹状天疱瘡・増殖性天疱瘡における抗デズモコリン自己抗体の関与の研究(H23年度若手B)	石井 文人	皮膚科	700,000	補委 石橋学術振興基金(石橋助成金)
EBA患者100例の臨床像と自己抗体の抗原エピトープの関連性の検討	大塚 明奈	皮膚科	2,500,000	補委 文科省科研費(若手研究(B))
生薬「紫根」によるプロテアソームS20特異的阻害作用を生かした新規皮膚病治療薬開発のための基礎研究	Yan Yan	皮膚科	1,000,000	補委 公益信託 九州大学医学部同窓会(国際研究助成基金)
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	嘉村 敏治	産婦人科	3,300,000	補委 独立行政法人国立がん研究センター
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	嘉村 敏治	産婦人科	800,000	補委 厚生労働省
創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立	嘉村 敏治	産婦人科	1,000,000	補委 文部科学省
卵巣癌・子宮体癌癌幹細胞に対するsynthetic microRNA療法の開発	津田 尚武	産婦人科	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費(若手研究B)
Rac1とNADPHオキシダーゼ阻害による網膜色素変性モデルの視細胞保護効果	春田 雅俊	眼科	200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会：科学研究費補助金
PET/CTによる膵臓癌の予後予測と分子病理学に基づくFDG集積メカニズム	石橋 正敏	放射線科	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
縦隔腫瘍取扱い規約に基づく縦隔区分法の評価と画像診断を用いた病期分類の提案と評価	藤本 公則	画像診断センター	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
進行期卵巣癌における核医学トレーサーとバイオマーカーによる化学療法感受性の予測	倉田 精二	放射線科	1,950,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
PET/CTと癌増殖シグナル伝達因子を用いた肺癌150例の生存率と予後解析	甲斐田 勇人	放射線科	1,560,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
胃悪性リンパ腫の予防と治療に関する基礎的および臨床的研究	早瀬 尚文	放射線科	1,690,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	早瀬 尚文	放射線科	390,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補	補助元又は委託元
乳癌における免疫抑制的腫瘍微小環境と免疫学的治療戦略についての検討	関 直子	歯科口腔医療センター	2,000,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
門脈血行異常症に関する調査研究	鹿毛 政義	病院病理部	350,000	補委	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
慢性肝疾患における非侵襲的弾性検査法を用いた肝線維化予測に関する研究(FIBROERAST Study)	鹿毛 政義	病院病理部	1,200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
肺癌における免疫染色を用いた新しいEGFR遺伝子変異検出法の確立	河原 明彦	病院病理部	600,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究	矢野 博久	病理学講座	1,500,000	補委	厚生労働省科学研究補助金研究代表者 八橋 弘
ウイルス性肝炎に対する応答性を規定する宿主因子を含めた情報のデータベース構築・治療応用に関する研究	長尾 由実子	消化器疾患情報講座	0	補委	厚生労働省
口腔粘膜疾患とC型肝炎のインスリン抵抗性についての検討-歯科医師の役割を含めて	長尾 由実子	消化器疾患情報講座	700,000	補委	文部科学省
入力関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究	神田 芳郎	法医学・人類遺伝学	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」
TaqMan蛋白質定量法を用いた法医診断に有用な生化学的マーカーの定量法の確立	神田 芳郎	法医学・人類遺伝学	1,430,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:挑戦的萌芽研究
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	伊東 恭悟	免疫・免疫治療学講座	30,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金がん臨床研究事業
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験	伊東 恭悟	免疫・免疫治療学講座	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業
「効果的な複合免疫療法の確立」(個別化ペプチドワクチンにおける血液バイオマーカーの同定と治療戦略の構築)	伊東 恭悟	免疫・免疫治療学講座	22,000,000	補委	科学技術試験研究委託事業
統合失調症の発症に関わる前頭前野および扁桃体に対するモノアミンの作用	田中 永一郎	生理学講座 脳・神経機能部門	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
発達障害に対する神経内分泌ホルモン「グレリン」の関与とその治療効果	西 芳寛	生理学講座 脳・神経機能部門	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
発達障害「レット症候群」に対する脳腸ホルモン「グレリン」を用いた治療法の開発	西 芳寛	生理学講座 脳・神経機能部門	500,000	補委	財団法人臨床研究奨励基金
Hcn4ノックインマウスを使ったバイオペースメーカー細胞の高効率スクリーニング	鷹野 誠	生理学講座 統合自律機能部門	8,710,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(B)
生体組織メソスケール3次元解析のためのFIB連続切削SEM表面組成観察法の最適化	中村 桂一郎	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	1,690,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:挑戦的萌芽研究
次世代ストラクチャー解析による真皮細胞間相互作用の形態的評価と病態との関連	太田 啓介	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	2,860,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(C)
骨・靭帯付着部における超微形態・機能解剖学的構造とその破綻後の解明	金澤 知之進	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	1,430,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
骨髄間葉系幹細胞移植による異所性骨形成モデルを用いた骨形成関連細胞の系譜解析	田上 隆一郎	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	910,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
新しい電子顕微鏡観察法を可能にする新規高機能包埋樹脂の開発	太田 啓介	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	600,000	補委	石橋助成金
肺がん肝臓がん及び膀胱がん症例に対するテーラーメイドがんペプチドワクチン療法の実用化研究	野口 正典	先端癌治療研究センター	79,700,000	補委	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がんペプチドワクチンの基礎研究	野口 正典	先端癌治療研究センター	20,000,000	補委 文部科学省
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第I相・第II相(前半)臨床試験	野口 正典	先端癌治療研究センター	157,300,000	補委 厚生労働省
私立大学戦略的研究基盤支援事業	山岸 昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学	30,000,000	補委 文部科学省私立大学戦略的研究基盤支援事業
終末糖化産物アプターを用いた糖尿病血管症の治療戦略	山岸 昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学	5,850,000	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)
乳房温存療法後の放射線治療後の皮膚ケアに関する研究	淡河 恵津世	重粒子線がん治療学	68,940	補委 公益社団法人日本放射線腫瘍学会課題研究助成金
Rett症候群の革新的病態マーカーと新規治療法開発の臨床的・基礎的研究	松石 豊次郎	小児科	1,560,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(基盤研究(C))
胎児期からのハイリスク児の臨床観察による発達障害理解と包括的診断治療法構築	松石 豊次郎	小児科	12,805,000	補委 文部科学省:新学術領域研究(研究領域提案型)
レット症候群の早期診断と治療をめざした統合的研究	松石 豊次郎	小児科	4,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)
自閉症スペクトラム障害を併存するADHDの革新的治療法と病態・治療効果評価法開発	山下 裕史朗	小児科	1,430,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(基盤研究(C))
発達障害時を持つ家族の支援ニーズに基づいたレジリエンス向上に関する研究	山下 裕史朗	小児科	700,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)
発達障害の診断および治療法開発に関する臨床研究	山下 裕史朗	小児科	1,500,000	補委 精神・神経疾患研究開発費
機能的脳画像法による思春期やせ症の病態解明と治療に関する研究	永光 信一郎	小児科	780,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(基盤研究(C))
脳代謝の律動から迫る新生児脳の発達評価:脳波とNIRSを用いた新生児睡眠解析	大矢 崇志	小児科	650,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(若手研究(B))
医療者の心を守る—脳科学による研修医の疲労感の科学的検証—	澁谷 郁彦	小児科	910,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(若手研究(B))
レット症候群モデルips細胞及び動物におけるグレリンによる新規治療法の開発	原 宗嗣	小児科	1,820,000	補委 文部科学省:科学研究費基金(若手研究(B))
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究—試薬からの希少疾病治療薬開発の試み—	古賀 靖敏	小児科	183,650,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	古賀 靖敏	小児科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
MELASに対するL-アルギニン治療の治験研究	古賀 靖敏	小児科	10,000,000	補委 日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
クロソ分子機構におけるミトコンドリアエネルギー代謝との関連	古賀 靖敏	小児科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
生体分子イメージングを用いた川崎病血管炎の解析	須田 憲治	小児科	1,400,000	補委 日本学術振興会
胎児不整脈に合併する心筋障害の評価法を開発し有効な胎内治療を確立する	前野 泰樹	小児科	1,040,000	補委 文部科学省科学研究費基盤C
胎児不整脈に対する胎児治療の臨床研究	前野 泰樹	小児科	2,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業
自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成及び新生児ループスの発症リスクの軽減に関する研究	前野 泰樹	小児科	300,000	補委 厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
胆汁酸代謝異常症の遺伝子診断と内科的治療法の確立～肝移植回避を目指して～	水落 建輝	小児科	390,000	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手研究B)

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

医学部医学科教授一覧表(所属別)

平成25年4月1日現在

職員 コード	所属 コード	教授就任日	講座名等	氏名	性別	生年月日(和暦)	定年予定日	備考
175008	4420	平成10年5月1日	内科学(消化器内科部門)	佐田 通夫	1	昭和23年5月8日	平成26年3月31日	※
174017	4490	平成7年8月1日	外科学	白水 和雄	1	昭和23年6月29日	平成26年3月31日	※
196022	6150	平成15年7月1日	リウマチ・膠原病セ(医療セ)	福田 孝昭	1	昭和23年7月18日	平成26年3月31日	
175011	4500	平成16年4月1日	外科学	木下 壽文	1	昭和23年7月29日	平成26年3月31日	
196435	4560	平成9年2月1日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	中島 格	1	昭和23年8月15日	平成26年3月31日	※
199128	4540	平成11年5月1日	産婦人科学	嘉村 敏治	1	昭和23年9月3日	平成26年3月31日	※
192201	4220	平成4年6月1日	免疫・免疫治療学	伊東 恭悟	1	昭和23年9月12日	平成26年3月31日	※
201204	4446	平成17年12月1日	内科学(血液・腫瘍内科部門)	岡村 孝	1	昭和23年10月9日	平成26年3月31日	※
181080	4460	平成17年11月1日	放射線医学	石橋 正敏	1	昭和23年11月11日	平成26年3月31日	
179020	4550	平成15年7月1日	泌尿器科学	松岡 啓	1	昭和23年12月24日	平成26年3月31日	※
192220	4150	平成5年1月1日	医化学	野口 正人	1	昭和24年3月10日	平成26年3月31日	※
175010	4450	平成13年8月1日	小児科学	松石 豊次郎	1	昭和24年5月5日	平成27年3月31日	※
175013	6070	平成15年7月1日	整形外科(医療セ)	樋口 富士男	1	昭和24年9月22日	平成27年3月31日	
176002	6050	平成12年5月1日	小児科(医療セ)	伊藤 雄平	1	昭和24年12月1日	平成27年3月31日	
186004	4013	平成7年1月1日	一般科目(物理学)	鶴岡 富士雄	1	昭和25年1月15日	平成27年3月31日	
196356	4445	平成8年6月16日	内科学(腎臓内科部門)	奥田 誠也	1	昭和25年2月5日	平成27年3月31日	※
178019	6030	平成17年11月1日	循環器科(医療セ)	池田 久雄	1	昭和25年3月29日	平成27年3月31日	
181008	5300	平成13年7月1日	病理部	鹿毛 政義	1	昭和25年10月26日	平成28年3月31日	
177023	4590	平成14年11月1日	救急医学	坂本 昭夫	1	昭和25年11月26日	平成28年3月31日	※
184092	4540	平成22年3月1日	産婦人科学	堀 大蔵	1	昭和26年7月7日	平成29年3月31日	
196201	4480	平成8年5月1日	皮膚科学	橋本 隆	1	昭和26年7月19日	平成29年3月31日	※
187121	4440	平成15年10月1日	内科学(内分泌代謝内科部門)	山田 研太郎	1	昭和26年8月15日	平成29年3月31日	※
198439	4530	平成11年2月1日	眼科学	山川 良治	1	昭和27年4月7日	平成30年3月31日	※
204340	4240	平成17年2月1日	公衆衛生学	石原 陽子	2	昭和27年6月12日	平成30年3月31日	※
182047	4310	平成25年2月1日	GC/MS施設	猪口 隆洋	1	昭和27年9月8日	平成30年3月31日	
183006	4001	平成19年11月1日	医学教育学	神代 龍吉	1	昭和27年10月1日	平成30年3月31日	
209288	4580	平成21年7月1日	麻酔学	牛島 一男	1	昭和28年3月8日	平成30年3月31日	※
182001	4440	平成18年12月1日	内科学(内分泌代謝内科部門)	廣松 雄治	1	昭和29年1月24日	平成31年3月31日	
206006	4180	平成21年4月1日	病理学	杉田 保雄	1	昭和29年3月22日	平成31年3月31日	
180016	6060	平成22年4月1日	外科(医療セ)	緒方 裕	1	昭和29年7月1日	平成32年3月31日	
187115	5370	平成21年3月1日	緩和ケアセンター	福重 哲志	1	昭和29年11月7日	平成32年3月31日	
181042	4110	平成16年12月1日	解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	山本 宏一	1	昭和29年11月9日	平成32年3月31日	※
189148	4190	平成8年12月1日	感染医学	桑野 剛一	1	昭和29年12月5日	平成32年3月31日	※
180035	5311	平成19年3月1日	消化器病センター	藤田 修	1	昭和30年3月20日	平成32年3月31日	
184014	4450	平成17年3月1日	小児科学	古賀 靖敏	1	昭和30年8月25日	平成33年3月31日	
205271	5100	平成17年8月1日	外科学(小児外科部門)	八木 実	1	昭和31年1月8日	平成33年3月31日	※
184093	4750	平成22年11月1日	地域医療連携	足達 寿	1	昭和31年1月27日	平成33年3月31日	
203007	4120	平成17年6月1日	解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	中村 桂一郎	1	昭和31年1月29日	平成33年3月31日	※
182014	5312	平成22年1月1日	循環器病センター	上野 高史	1	昭和31年3月1日	平成33年3月31日	
183010	5210	平成23年7月1日	臨床検査部	中島 収	1	昭和31年6月29日	平成34年3月31日	
186014	4470	平成19年4月1日	神経精神医学	内村 直尚	1	昭和31年7月3日	平成34年3月31日	※
182081	4500	平成22年7月1日	外科学	明石 英俊	1	昭和31年7月3日	平成34年3月31日	
182030	4520	平成16年7月1日	整形外科	志波 直人	1	昭和32年1月20日	平成34年3月31日	※
182007	4420	平成24年4月1日	内科学(消化器内科部門)	光山 慶一	1	昭和32年1月24日	平成34年3月31日	
211317	4500	平成23年9月1日	外科学	田中 啓之	1	昭和32年2月22日	平成34年3月31日	※
182019	5460	平成24年4月1日	医療安全管理部	田中 芳明	1	昭和32年3月1日	平成34年3月31日	
183072	5091	平成22年4月1日	臨床研修管理センター	高森 信三	1	昭和32年7月22日	平成34年3月31日	
184034	6130	平成24年4月1日	放射線科(医療セ)	内田 政史	1	昭和32年10月13日	平成35年3月31日	
186012	4130	平成20年5月1日	生理学(脳・神経機能部門)	田中 永一郎	1	昭和33年3月7日	平成35年3月31日	※
187082	4600	平成17年2月1日	形成外科・顎顔面外科学	清川 兼輔	1	昭和33年5月1日	平成36年3月31日	※
184035	4460	平成25年4月1日	放射線医学	安陪 等思	1	昭和33年5月15日	平成36年3月31日	※
187079	4170	平成19年5月1日	病理学	矢野 博久	1	昭和33年9月29日	平成36年3月31日	※
211167	4140	平成23年4月1日	生理学(統合自律機能部門)	鷹野 誠	1	昭和33年10月10日	平成36年3月31日	※
206141	4410	平成20年3月1日	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	谷脇 考恭	1	昭和33年11月5日	平成36年3月31日	
205248	4180	平成17年6月1日	病理学	大島 孝一	1	昭和34年2月26日	平成36年3月31日	※
211307	4510	平成23年8月1日	脳神経外科学	森岡 基浩	1	昭和35年4月20日	平成38年3月31日	※
191025	4230	平成14年8月1日	環境医学	石竹 達也	1	昭和35年5月14日	平成38年3月31日	※
190169	4250	平成15年5月1日	法医学・人類遺伝学	神田 芳郎	1	昭和35年7月27日	平成38年3月31日	※
185052	4160	平成18年5月1日	薬理学	西 昭徳	1	昭和35年8月26日	平成38年3月31日	※
206274	4200	平成18年10月1日	感染医学	渡邊 浩	1	昭和36年2月18日	平成38年3月31日	※
200372	4210	平成22年4月1日	感染医学	井上 雅広	1	昭和36年4月5日	平成39年3月31日	
202158	4740	平成25年8月1日	高度救命救急センター	山下 典雄	1	昭和36年5月22日	平成39年3月31日	
187039	5230	平成25年8月1日	先進漢方医学	恵紙 英昭	1	昭和37年2月14日	平成39年3月31日	
193025	4720	平成15年3月1日	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟	1	昭和37年8月31日	平成40年3月31日	
200348	4730	平成20年10月1日	糖尿病性血管合併症病態・治療学	山岸 昌一	1	昭和38年1月12日	平成26年3月31日	任期制
188118	4760	平成23年11月1日	重粒子線がん治療学	淡河 悦代	2	昭和38年8月15日	平成26年3月31日	任期制
193034	4410	平成23年10月1日	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	星野 友昭	1	昭和39年9月19日	平成42年3月31日	※
213303	4430	平成25年7月1日	内科学(心臓・血管内科部門)	福本 義弘	1	昭和40年10月12日	平成43年4月1日	※

○ 山岸先生については、発令期限終了日を定年予定日として表示。

○ 淡河先生については、発令期限終了日を定年予定日として表示。

備考欄の※印は、講座主任教授を示す。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Respirology	2012年8月	Depression but not sleep disorder is an independent factor affecting exacerbations and hospitalization in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Ito K	呼吸器・神経・膠原病内科部門
J Thorac Oncol	2012年5月	Ndrp1/cap43/drg-1 may predict tumor angiogenesis and poor outcome in patients with lung cancer.	Azuma K	呼吸器・神経・膠原病内科部門
J Thorac Oncol	2012年1月	Association of the expression of mutant EGFR protein as determined with mutation-specific antibodies in non-small cell lung cancer with progression-free survival after gefitinib treatment.	Azuma K	呼吸器・神経・膠原病内科部門
Oncol Letters	2012年9月	Chemotherapy for non-small cell lung cancer complicated by interstitial pneumonia.	Kinoshita T	呼吸器・神経・膠原病内科部門
Eur J Radiology	2012年12月	Prognostic significance of total lesion glycolysis in patients with advanced non-small cell cancer receiving chemotherapy.	Zaizen K	呼吸器・神経・膠原病内科部門
Clin Neurol Neurosurg	2012年5月	Anhedonia in Japanese patients with Parkinson's disease: Analysis using the Snaith-Hamilton Pleasure Scale.	Miura S	呼吸器・神経・膠原病内科部門
PLoS One	2012年10月	Interleukin-33 primes mast cells for activation by IgG immune complexes.	Kaieda S	呼吸器・神経・膠原病内科部門
Mod Rheumatol	2012年10月	Successful treatment of rectal ulcers in a patient with systemic lupus erythematosus using corticosteroids and tacrolimus.	Kaieda S	呼吸器・神経・膠原病内科部門
J Cell Physiol	2012年4月	Human peripheral blood CD34-positive cells enhance therapeutic regeneration of chronically injured liver in nude rats.	Nakamura T	消化器内科
J Clin Pathol	2012年4月	The utility of a novel antibody in the pathological diagnosis of pancreatic acinar cell carcinoma.	Yasumoto M	消化器内科
J Gastroenterol	2012年5月	Risk factors for hepatocellular carcinoma in Japanese patients with autoimmune hepatitis type 1.	Hino-Arinaga T	消化器内科
Hepatol Res	2012年6月	Hepatitis C virus core protein upregulates the expression of vascular endothelial growth factor via the nuclear factor- κ B/hypoxia-inducible factor-1 axis under hypoxic conditions.	Abe M	消化器内科
Mol Ther	2012年6月	A new therapeutic approach using a Schizophyllan-based drug delivery system for inflammatory bowel disease.	Takedatsu H	消化器内科
World J Gastroenterol	2012年6月	Motor vehicle accidents: How should cirrhotic patients be managed?	Kawaguchi T	消化器内科
J Gastroenterol	2012年6月	Serum vascular endothelial growth factor as a predictor of response and survival in patients with advanced hepatocellular carcinoma undergoing hepatic arterial infusion chemotherapy.	Niizeki T	消化器内科
Asian J Chem	2012年6月	5-aminosalicylic acid released from mesalazine tablet - comparison of pharmacokinetic parameters between Japanese patients with ulcerative colitis and healthy adults.	Mitsuyama K	消化器内科
PLoS One	2012年6月	Loss of the SxxSS motif in a human T-dell factor-4 isoform confers hypoxia resistance to liver cancer: An oncogenic switch in Wnt signaling.	Koga H	消化器内科
Eur J Clin Invest	2012年7月	Prevention of liver fibrosis and liver reconstitution of DMN-treated rat liver by transplanted EPCs.	Nakamura T	消化器内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol	2012年12月	Efficacy and safety of eltrombopag in Japanese patients with chronic liver disease and thrombocytopenia: a randomized, open-label, phase II study.	Kawaguchi T	消化器内科
J Gastroenterol	2013年1月	Chronic HCV infection was associated with severe insulin resistance and mild atherosclerosis: a population-based study in an HCV hyperendemic area.	Miyajima I	消化器内科
Oncology	2013年2月	Efficacy, safety, and survival factors for Sorafenib treatment in Japanese patients with advanced hepatocellular carcinoma.	Nakano M	消化器内科
Hepatol Res	2013年2月	Nutritional assessments for ordinary medical care in patients with chronic liver disease.	Taniguchi E	消化器内科
J Gastroenterol	2013年2月	Decreased expression of insulin and increased expression of pancreatic transcription factor PDX-1 in islets in patients with liver cirrhosis: a comparative investigation using human autopsy specimens.	Sakata M	消化器内科
Hypertension	2012年4月	Is low diastolic blood pressure an independent risk for cardiovascular events in patients with manifest atherosclerotic disease?	Kai H	心臓・血管内科
Int J Cardiol	2012年4月	High-sensitive troponin T is associated with atrial fibrillation in a general population.	Anegawa T	心臓・血管内科
Kidney Int	2012年4月	Inhibition of eNOS phosphorylation mediates endothelial dysfunction in renal failure: New effect of asymmetric dimethylarginine.	Kajimoto H	心臓・血管内科
Hypertens Res	2012年7月	Losartan/hydrochlorothiazide combination vs. high-dose losartan in patients with morning hypertension – a prospective, randomized, open-labeled, parallel-group, multicenter trial.	Ueda T	心臓・血管内科
Int J Cardiol	2012年7月	Adiponectin is inversely associated with ratio of serum levels of AGEs to sRAGE and vascular inflammation.	Tahara N	心臓・血管内科
PACE	2012年7月	How to avoid development of AV block during RF ablation: Anatomical and electrophysiological analyses at the time of AV node ablation.	Gondou T	心臓・血管内科
Cardiovasc Ther	2012年8月	Serum levels of advanced glycation end products (AGEs) are inversely associated with number and migratory activity of circulating endothelial progenitor cells in apparently healthy subjects.	Ueda S	心臓・血管内科
Cardiovasc Res	2012年9月	Ultrasound stimulation restores impaired neovascularization-related capacities of human circulating angiogenic cells.	Toyama Y	心臓・血管内科
J Epidemiol	2012年9月	Serum hepatocyte growth factor and cancer mortality in an apparently healthy Japanese population.	Otuka M	心臓・血管内科
JACC Cardiovasc Interv	2012年9月	Coronary endothelial dysfunction distal to stent of first-generation drug-eluting stents.	Mitsutake R	心臓・血管内科
Int J Cardiol	2012年10月	Transient reduction and activation of circulating dendritic cells in patients with acute myocardial infarction.	Fukui D	心臓・血管内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Biochem	2012年11月	Serum levels of pigment epithelium-derived factor, a novel marker of insulin resistance, are independently associated with fasting apolipoprotein B48 levels in humans.	Tahara N	心臓・血管内科
Hypertens Res	2012年11月	Cardiomyocyte-specific transgenic expression of lysyl oxidase-like protein-1 induces cardiac hypertrophy in mice.	Omura H	心臓・血管内科
Circ J	2012年12月	Plasma endothelin-1 level is a predictor of 10-year mortality in a general population: The Tanushimaru Study.	Yokoi K	心臓・血管内科
Diabetes Care	2012年12月	Positive association between serum level of glyceraldehyde-derived advanced glycation end products and vascular inflammation evaluated by 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Tahara N	心臓・血管内科
Int J Vasc Med	2012年	Selective gene expression analysis of muscular and vascular components in hearts using laser microdissection method.	Ikeda A	心臓・血管内科
Atherosclerosis	2013年3月	New computer model for prediction of individual 10-year mortality on the basis of conventional atherosclerotic risk factors.	Ogata K	心臓・血管内科
Int J Cardiol	2012年5月	Stent-anchored coil embolotherapy - Novel treatment procedure for huge pulmonary arterio-venous malformation in hereditary hemorrhagic telangiectasia-	Koiwaya H	心臓・血管内科
Int J Cardiol	2012年7月	Successful shunt closure and improvement of hemodynamics in an ASD patient with severe pulmonary arterial hypertension and small shunt following a long-term use of bosentan.	Tahara N	心臓・血管内科
脳卒中	2013年1月	マイクロコンベックス型探触子を用いた経口腔頭部血管超音波検査法(modified TOCU)	姉川 敬裕	心臓・血管内科
日循予防誌	2012年1月	地域住民の栄養摂取量と冠危険因子の50年間の変遷	足達 寿	地域医療連携講座
Nephrology	2012年11月	Decreased serum carnitine is independently correlated with increased tissue accumulation levels of advanced glycation end products in haemodialysis patients.	Adachi T	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant	2012年9月	Experimental diabetic nephropathy is accelerated in matrix metalloproteinase-2 knockout mice.	Takamiya Y	腎臓内科
Life Sciences	2012年9月	Proteinuria elevates asymmetric dimethylarginine levels via protein arginine methyltransferase-1 overexpression in a rat model of nephrotic syndrome.	Kaida Y	腎臓内科
Transworld Research Network	2012年4月	Nitric Oxide Synthase Inhibitors:From Animal Studies to Clinical Implications.	Ueda S	腎臓内科
セラピューテック・リサーチ	2012年10月	アログリプテンからリナグリプテンへの切換え例での臨床的有用性について—血液透析患者における検討—	深水 圭	腎臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrine Journal	2012年12月	Modulation by adiponection of circadian clock rhythmicity in model mice for metabolic syndrome.	Hashinaga T	内分泌代謝内科
BBRC	2013年7月	Identification of hepatocyte growth factor activator (Hgfac) gene as a target of HNF1 α in mouse β -cells.	Oki T	内分泌代謝内科
Anticancer Research	2012年	Increased Claudin-1 Protein Expression in Hepatic Metastatic Lesions of Colorectal Cancer.	Kinugasa T	外科
Anticancer Research	2012年	Amphiregulin Is a Prognostic Factor in Colorectal Cancer.	Ohchi T	外科
International Journal of Cancer	2012年	Predicting oncologic outcomes by stratifying mesorectal extension in patients with pT3 rectal cancer: a Japanese multi-institutional study.	Yoshito Y	外科
Ann Surg Oncol	2012年	Esophagectomy with extended lymphadenectomy for submucosal esophageal cancer: long-term outcomes and prognostic factors.	Tanaka T	外科
Diseases of the Esophagus	2012年	Reflux esophagitis after esophagectomy: impact of duodengastroesophageal reflux.	Nishimura K	外科
Journal of Cancer Therapy	2013年	Relevance of Surgery in Stage IV Gastric Carcinoma.	Aoyagi K	外科
Experimental and Therapeutic Medicine	2013年	Benefit of the measurement of mesorectal extension in patients with pT3N1-2 rectal cancer without pre-operative chemoradiotherapy: Post-operative treatment strategy.	Akagi Y	外科
Gastric Cancer	2013年	Expression of CD133 in the cytoplasm is associated with cancer progression and poor prognosis in gastric cancer.	Hashimoto K	外科
Int J Clin Oncol	2013年	Clinicopathological significance of hypoxia-inducible factor-1 alpha(HIF-1 α) expression in gastric cancer.	Isobe T	外科
Oncology Reports	2013年	Characteristics and prognosis of gastric cancer in young patients.	Isobe T	外科
Molecular and Clinical Oncology	2013年	FOXP3 expression in tumor cells and tumor-infiltrating lymphocytes is associated with breast cancer prognosis.	Takenaka M	外科
Anticancer Research	2013年	Virchow Lymph Node Metastatic Recurrence of Sigmoid Colon Cancer with Severe Lymph Node Metastases Successfully Treated Using Systemic Chemotherapy Combined with Radiotherapy.	Ohchi T	外科
Anticancer Research	2013年	Prognostic Impact of Lymphatic Invasion of Colorectal Cancer: A Single-center Analysis of 1,616 Patients Over 24 Years.	Akagi Y	外科
Anticancer Research	2013年	Lymph Node Evaluation and Survival in Colorectal Cancer: Review of Population-based, Prospective Studies.	Akagi Y	外科
Anticancer Research	2013年	Gemcitabine with Paclitaxel Therapy Against Mesocolic Leiomyosarcoma: A Case Report.	Mizobe T	外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Research	2013年	Estimation of the Number of Metastatic Lymph Nodes in Dukes' C Colorectal Cancer.	Ohchi T	外科
Anticancer Research	2013年	Expression of Monocarboxylate Transporter (MCT)-4 in Colorectal Cancer and its Role: MCT4 Contributes to the Growth of Colorectal Cancer with Vascular Endothelial Growth Factor.	Gotanda Y	外科
Molecular and Clinical Oncology	2013年	Prognostic significance of isolated tumor cells in patients with colorectal cancer in recent 10-year studies studies. (Review)	Akagi Y	外科
Gastrointestinal & Digestive System	2013年	A Study Gastric Cancer Cases with Liver Metastasis.	Aoyagi K	外科
Exp Ther Med	2013年	Treatment outcomes in stage III breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy.	Takahashi R	外科
Breast Cancer	2013年	Phase II clinical trial of metronomic chemotherapy with combined irinotecan and tegafur-gimeracil-oteracil potassium in metastatic and recurrent breast cancer. Breast Cancer.	Otsuka H	外科
Oncology Letters	2013年	Identification of high-risk factors as indicators for adjuvant therapy in stage II colon cancer patients treated at a single institution.	Yamaguchi K	外科
Surg Today	2013年	Intersphincteric resection for very low rectal cancer: a systematic review.	Akagi Y	外科
Hepatogastroenterology	2013年	Expression of p27Kip1 protein in gastric carcinoma.	Aoyagi K	外科
J Artif Organs	2012年3月	Hemodynamic differences between the awake and anesthetized conditions in normal calves.	Takaseya T	外科
Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation, Therapy & Technology	2012年5月	Inducement of semitendinosus tendon regeneration to the pes anserinus after its harvest for anterior cruciate ligament reconstruction-A new inducer grafting technique.	Murakami H	整形外科
Journal of Spine Research	2012年6月	腰痛を訴える多発性骨髄腫患者の診断に関する検討	吉松 弘喜	整形外科
日本足の外科学会雑誌	2012年5月	足関節後方インピンジメント症候群に対する後足部内視鏡視下手術の治療経験	野口 幸志	整形外科
整形外科と災害外科	2012年9月	仙骨脆弱性骨折後に遅発性膀胱直腸障害を発生した2例	吉田 史郎	整形外科
Bone & Joint Research	2012年9月	Chronological changes in the collagen-type composition at tendon-bone interface in rabbits.	Tabuchi K	整形外科
久留米医学会雑誌	2012年4月	大きな骨欠損を伴う大腿骨顆部開放骨折に対しBank Boneを用いて修復した1症例	本多 弘一	整形外科
J. Plast. Reconstr. & Aesthetic Surg.	2012年4月	A method for accurately designing flaps for use in reconstructive surgery of the oral and oropharyngeal region using surgical wire.	Watanabe K	形成外科・顎顔面外科
J. Plast. Reconstr. & Aesthetic Surg.	2012年5月	An investigation of the fixation materials for cartilage frames in microtia.	Sakamoto A	形成外科・顎顔面外科
J. Plast. Reconstr. & Aesthetic Surg.	2012年5月	Effects of short-term venous augmentation on the improvement of flap survival: An experimental study in rats.	Fukushima J	形成外科・顎顔面外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
形成外科	2012年8月	隆起性の色素性母斑に対するZebra methodを用いたレーザー複合療法の有効性の検討	王丸 陽光	形成外科・顎顔面外科
形成外科	2012年9月	慢性膿胸に対する創内持続陰圧洗浄療法と広背筋前鋸筋連合筋弁充填術の有用性	池尻 充宏	形成外科・顎顔面外科
J. Plast. Surg. Hand Surg.	2012年10月	Surgical correction of extensive scarring of the limbs with an unfolded cube advancement flap.	Koga N	形成外科・顎顔面外科
創傷	2012年10月	組織拡張器を用いたUnfolded Cube Advancement Flap (Hammerhead Flap)による頭蓋顎顔面領域および四肢における広範囲皮膚欠損創の整容的再建	井野 康	形成外科・顎顔面外科
Annals of Vascular Diseases	2013年3月	A Team Approach to the Management of Intractable Leg Ulcers.	Ino K	形成外科・顎顔面外科
Neurosurgery	2012年10月	Ruptured de novo aneurysm arising at a site remote from the anastomosis 14 years after superficial temporal artery-middle cerebral artery bypass: A case report.	Aoki T	脳神経外科
脳卒中の外科	2012年5月	同一術者による浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術(STA-MCAバイパス)の手術成績と手術手技上の問題点	青木 孝親	脳神経外科
Pediatr Surg Int	2013年6月	Pre and post-operative evaluation of gastroesophageal reflux and esophageal motility in neurologically impaired children using combined ph-multichannel intraluminal impedance.	Fukahori S	小児外科
The British journal of dermatology	2012年1月	Novel adenosine triphosphate (ATP)-binding cassette, subfamily A, member 12 (ABCA12) mutations associated with congenital ichthyosiform erythroderma.	Fukuda S	皮膚科
Indian journal of dermatology, venereology and leprology	2012年3月	A case of herpes gestationis: follow-up study of autoantibodies using enzyme-linked immunosorbent assay and immunoblotting.	Fukuda S	皮膚科
Journal of the American Academy of Dermatology	2012年2月	Clinicopathological features and prognostic significance of CXCL12 in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.	Hashikawa K	皮膚科
The Journal of pathology	2012年9月	Pathogenesis of epidermolysis bullosa acquisita, an autoimmune subepidermal bullous disease.	Hashimoto T	皮膚科
Dermatologic therapy	2012年7月	Mizoribine treatment for antihistamine-resistant chronic autoimmune urticaria.	Hashimoto T	皮膚科
Dermatologic therapy	2012年7月	Therapeutic effect of mizoribine on pemphigus vulgaris and pemphigus foliaceus.	Hashimoto T	皮膚科
The Australasian journal of dermatology	2012年8月	Low-dose cyclosporin improves the health-related quality of life in Japanese psoriasis patients dissatisfied with topical corticosteroid monotherapy.	Hashimoto T	皮膚科
European journal of dermatology	2012年7月	Decline of disease activity and autoantibodies to desmoglein 3 and envoplakin by oral prednisolone in paraneoplastic pemphigus with benign thymoma.	Ishii N	皮膚科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Acta dermato-venereologica	2012年11月	Successful treatment of Bowen's disease with topical maxacalcitol.	Karashima M	皮膚科
Journal of dermatological science	2012年4月	Interaction of plectin and intermediate filaments.	Karashima M	皮膚科
Dermatologic therapy	2012年3月	Oral zinc therapy for zinc deficiency-related telogen effluvium.	Karashima M	皮膚科
The British journal of dermatology	2012年5月	Five Japanese cases of antidesmoglein 1 antibody-positive and antidesmoglein 3 antibody-negative pemphigus with oral lesions.	Koga H	皮膚科
Clinical & developmental immunology	2012年6月	Distinct characteristics in Japanese dermatitis herpetiformis: a review of all 91 Japanese patients over the last 35 years.	Ohata T	皮膚科
European journal of dermatology	2012年11月	Pemphigoid with autoantibodies to all laminin 332 subunits and BP230 developing vesicles within psoriatic plaques.	Ohata T	皮膚科
The Journal of investigative dermatology	2012年4月	Epitope spreading is rarely found in pemphigus vulgaris by large-scale longitudinal study using desmoglein 2-based swapped molecules.	Oyama B	皮膚科
The Journal of dermatology	2012年11月	Comparison between famciclovir and valacyclovir for acute pain in adult Japanese immunocompetent patients with herpes zoster.	Ono F	皮膚科
Immunotherapy	2012年7月	Diagnosis and treatment of pemphigus.	Tsuruta D	皮膚科
The Journal of dermatology	2012年9月	Unilateral bullous pemphigoid without erythema and eosinophil infiltration in a hemiplegic patient.	Tsuruta D	皮膚科
Int J Clin Onco	2012年	Precise evaluation of chemotherapy - induced peripheral neuropathy using the visual analogue scale : a quantitative and comparative analysis of neuropathy occurring with paclitaxel - carboplatin and docetaxel - carboplatin therapy.	Takemoto S	産婦人科
Korean J Obstet Gynecol	2012年4月	Controversies surrounding type III radical abdominal hysterectomy and its procedure using new instruments.	Ushijima K	産婦人科
Virology Journal	2012年	Identification of B cell epitopes reactive to human papillomavirus type -16L1- derived peptides.	Fukui A	産婦人科
Clinical Ophthalmology	2012年6月	Characteristics and surgical outcomes of pediatric rhegmatogenous retinal detachment.	Ono Y	眼科
臨床眼科	2012年8月	鼻涙管完全閉塞に対するチューブ挿入術の検討	鶴丸 修士	眼科
眼科臨床紀要	2012年11月	腫瘍切除に冷凍凝固、マイトマイシンC塗布、羊膜移植を併用したocular surface squamous neoplasiaの検討	門田 遊	眼科
眼科手術	2013年3月	一時的人工角膜を用いた全層角膜移植と白内障同時手術	門田 遊	眼科
Eur Radiol	2012年	Acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: high-resolution CT scores predict mortality.	Arikawa S	画像診断センター

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Radiation Research	2012年7月	Automated estimation of number of implanted iodine-125 seeds for prostate brachytherapy based on two-view analysis of pelvic radiographs.	Kawata H	画像診断センター
Jpn J Radiol	2012年	Hepatic arterial infusion chemotherapy with a coaxial reservoir system using a non-braided spiral tip microcatheter.	Kurata S	放射線科
Clin Nucl Med	2012年	Comparison between endoscopic macroscopic classification and F-18 FDG PET findings in gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma patients.	Hirose Y	放射線科
PLoS ONE	2012年	Quantification of Hepatic Iron Concentration in Chronic Viral Hepatitis: Usefulness of T2-weighted Single-Shot Spin-Echo Echo-Planar MR Imaging.	Tonan T	放射線科
Am J Roentgenol	2012年	Ultraslective arterial embolization of vasa recta using 1.7-French microcatheter with small-sized detachable coils in acute colonic hemorrhage after failed endoscopic treatment.	Koganemaru M	放射線科
J Gastroenterol Hepatol	2012年	CD14 expression and Kupffer cell dysfunction in non-alcoholic steatohepatitis: Superparamagnetic iron oxide-magnetic resonance image and pathologic correlation.	Tonan T	放射線科
Jpn J Radiol	2012年	Pelvic arteriovenous malformation treated by superselective transcatheter venous and arterial embolization.	Koganemaru M	放射線科
Hell J Nucl Med	2012年	High 18F-FDG uptake in sporadic paraganglioma of the retroperitoneum may be related to intra-tumor haemorrhage and macrophages.	Kaida H	放射線科
Hell J Nucl Med	2012年	Incidental detection of rare mesenteric inflammatory pseudotumor by 18F-FDG PET.	Hirose Y	放射線科
Jpn J Radiol	2012年	A newly developed double lumen microballoon catheter with a side hole: initial experience of intraarterial infusion chemotherapy and/or embolization.	Koganemaru M	放射線科
Pancreas	2012年	Assessment of Chronic Pancreatitis: Use of Whole Pancreas Perfusion With 256-Slice Computed Tomography.	Arikawa S	放射線科
Skeletal Radiol	2012年	Age-related changes in pre- and postmenopausal women investigated with 18F-fluoride PET—a preliminary study.	Kurata S	放射線科
BMJ Case Rep	2013年	Successful endovascular treatment of iatrogenic pseudoaneurysm with a relatively long neck.	Koganemaru M	放射線科
BMJ Case Rep	2013年	Late-occurring coil migration into the duodenum.	Kuhara A	放射線科
J Thorac Imaging	2013年	Interstitial Pneumonia Associated With Ulcerative Colitis : High-resolution Computed Tomography and Pathologic Findings.	Ikehara N	放射線科
BMJ Case Rep	2013年	Dietary small bowel obstruction.	Koganemaru M	放射線科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol	2013年	18F-FDG uptake in primary gastric malignant lymphoma correlates with glucose transporter 1 expression and histologic malignant potential.	Watanabe Y	放射線科
J Radiat Res	2013年	Quantitative evaluation of light scattering intensities of the crystalline lens for radiation related minimal change in interventional radiologists: a cross-sectional pilot study.	Abe T	放射線科
Kurume Medical Journal	2012年	Relationship between Masseter Muscle Form and Occlusal Supports of Remaining Teeth.	Tetsuka M	解剖学講座 肉眼・臨床解剖部門(歯科口腔医療センター)
Journal of Cellular Biochemistry	2012年	Tricin inhibits proliferation of human hepatic stellate cells in vitro by blocking tyrosine phosphorylation of PDGF receptor and its signaling pathways.	Seki N	歯科口腔医療センター
Cells Tissues Organs	2012年	The effect of the microenvironment created by a titanium mesh cage on subcutaneous experimental bone formation and inhibition of absorption.	Tanoue R	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門(歯科口腔医療センター)
臨床病理	2012年8月	汎発性腹膜炎患者の術後に血液培養より分離されたAbitrophia defectiva の1例	棚町 千代子	臨床検査部
医学検査	2012年9月	皮膚からヒト型結核菌が検出された1事例	小山 那奈	臨床検査部
日本輸血・細胞治療学会誌	2012年8月	混合型自己免疫性溶血性貧血をともなうEvans症候群の1症例	天本 貴広	臨床検査部
医学検査	2013年3月	多剤耐性緑膿菌感染症に対し薬剤併用療法が奏功した1例	矢野 知美	臨床検査部
Pathology international.	2012年8月	Malignant diffuse-type tenosynovial giant cell tumor of the buttock.	Kondo R	病院病理部
Lung Cancer.	2012年10月	A diagnostic algorithm using EGFR mutation-specific antibodies for rapid response EGFR-TKI treatment in patients with non-small cell lung cancer.	Kawahara A	病院病理部
Diagn Cytopathol	2012年11月	EML4-ALK-positive lung adenocarcinoma with signet-ring cells.	Kawahara A	病院病理部
Journal of gastroenterology	2013年2月	Accumulation of platelets in the liver may be an important contributory factor to thrombocytopenia and liver fibrosis in chronic hepatitis C.	Kondo R	病院病理部
Diagnostic cytopathology	2013年2月	Detection of Demodex folliculorum from nipple discharge.	Yokoyama T	病院病理部
日本臨床細胞学会雑誌	2012年7月	突起膠腫の2症例の細胞像とOLIG2蛋白の発現	安倍 秀幸	病院病理部
日本臨床細胞学会雑誌	2012年7月	乳癌肺転移との鑑別を要したEGFR遺伝子変異を伴う原発性肺癌の1例	河原 明彦	病院病理部
日本臨床細胞学会雑誌	2012年8月	子宮内膜病変におけるglucose transporter-1(GLUT-1)の発現	山口 知彦	病院病理部
Cancer Cytopathol.	2012年3月	Arginase-1 is a more sensitive marker of hepatic differentiation than HepPar-1 and glypican-3 in fine-needle aspiration biopsies.	Fujiwara M	病理学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
BMC Gastroenterol	2012年4月	A retrospective case-control study of hepatitis C virus infection and oral lichen planus in Japan: association study with mutations in the core and NS5A region of hepatitis C virus.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
BMC Res Notes	2012年8月	Analysis of the factors motivating HCV-infected patients to accept interferon therapy.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
BMC Gastroenterol	2012年10月	Effects and outcomes of interferon treatment in Japanese hepatitis C patients.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
BMC Gastroenterol	2012年11月	Candidiasis and other oral mucosal lesions during and after interferon therapy for HCV-related chronic liver diseases.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
Virol J	2012年11月	Effect of branched-chain amino acid-enriched nutritional supplementation on interferon therapy in Japanese patients with chronic hepatitis C virus infection: a retrospective study.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
顕微鏡	2012年	TEM像に迫る、リターディング法を用いた樹脂包埋生物標本のSEM反射電子観察とFIB/SEMトモグラフィへの応用	太田 啓介	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門
Micron	2012年	Beam deceleration for block-face scanning electron microscopy of embedded biological tissue.	Ohta K	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門
Cells Tissues Organs	2012年	The effect of the microenvironment created by a titanium mesh cage on subcutaneous experimental bone formation and inhibition of absorption.	Tanoue R	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門
J Struct Biol	2012年	Helical arrangement of filaments in microvillar actin bundles.	Ohta K	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門
Acta Histochem.	2012年	Bone marrow stromal cells can cause subcutaneous fibroblasts to differentiate into osteocytes in a physically stable spatial microenvironment in rats.	Tanoue R	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門
Journal of Neurophysiology	2012年5月	Activation of protein kinase A and C prevents recovery from persistent depolarization produced by oxygen and glucose deprivation in rat hippocampal neurons.	Murai Y	生理学講座 脳・神経機能部門
PLoS ONE	2012年6月	Alterations of gene expression and glutamate clearance in astrocytes derived from an MeCP2-null mouse model of Rett syndrome.	Okabe Y	生理学講座 脳・神経機能部門
Methods in Enzymology	2012年	Ghrelin acylation by ingestion of medium-chain fatty acids.	Nishi Y	生理学講座 脳・神経機能部門
J Mol Cell Cardiol	2012年5月	Arrhythmogenic coupling between the Na ⁺ -Ca ²⁺ exchanger and inositol 1,4,5-triphosphate receptor in rat pulmonary vein cardiomyocytes.	Takano M	生理学講座 統合自律機能部門
Transfusion	2012年6月	Genetic variation of FUT2 in a Vietnamese population: identification of two novel Se enzyme-inactivating mutations.	Koda Y	法医学・人類遺伝学
Forensic Sci Int Genet	2012年7月	Selective quantification of human DNA by real-time PCR of FOXP2.	Koda Y	法医学・人類遺伝学

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Chim Acta	2013年1月	TaqMan real-time polymerase chain reaction for detection of SEC1-FUT2 hybrid alleles: identification of novel hybrid allele.	Koda Y	法医学・人類遺伝学
Int J Oncol	2012年3月	Personalized peptide vaccination in patients with refractory non-small cell lung cancer.	Itoh K.	免疫・免疫治療学講座
Cancer Science	2012年4月	Immunological evaluation of personalized peptide vaccination in refractory small cell lung cancer.	Itoh K.	免疫・免疫治療学講座
Japanese Journal of Endourology	2012年4月	非浸潤性膀胱癌に対するNarrow Band Imaging (NBI) の有用性に関する臨床的検討	松尾 光哲	泌尿器科
Japanese Journal of Endourology	2012年4月	HoLEP	松岡 啓	泌尿器科
西日本泌尿器科	2012年5月	進行性腎細胞がんに対する個別化がんペプチドワクチン療法	末金 茂高	泌尿器科
The Prostate	2012年6月	Phase II study of personalized peptide vaccination for castration-resistant prostate cancer patients who failed in docetaxel-based chemotherapy.	Noguchi M	先端癌治療研究センター
J Infect Chemother	2012年10月	Improvement in urinary retention due to recurrent anastomotic prostate cancer treated with various therapies by intra-arterial infusion of cisplatin and ifosfamide.	Uemura K	泌尿器科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	2012年6月	Concurrent radiotherapy and gemcitabine for unresectable pancreatic adenocarcinoma: impact of adjuvant chemotherapy on survival.	Ogo E	放射線科
日本急性血液浄化学会雑誌	2012年7月	PMMA膜におけるヒト排液高濃度IL-6含有血漿を用いたIL-6吸着特性の基礎的検討	山香 修	臨床工学センター
日本急性血液浄化学会雑誌	2012年12月	新生児の高アンモニア血症に対する血液浄化療法の2例	今井 徹朗	臨床工学センター
小児科臨床	2012年4月	ミトコンドリア脳筋症	古賀 靖敏	小児科
Clinical Neuroscience	2012年9月	ミトコンドリア病の治療 薬物療法	古賀 靖敏	小児科
Biochimica et Biophysica Acta	2012年5月	Molecular Pathology of MELAS and L-arginine effects.	Koga Y	小児科
Biochimica et Biophysica Acta	2012年5月	Biochemistry of mitochondria, life and intervention 2010.	Koga Y	小児科
Biochimica et Biophysica Acta	2012年5月	MELAS: A nationwide prospective cohort study of 96 patients in Japan.	Yatsuga S	小児科
Int J Cardiol	2012年	Persistent coronary arterial inflammation in a patient long after the onset of Kawasaki disease.	Suda K	小児科
Pediatrics	2012年5月	Qualitative brain MRI at term and cognitive outcomes at 9 years after very preterm birth.	Iwata S	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Paediatr	2013年1月	Sleep patterns of Japanese preschool children and their parents: Implications for co-sleeping.	Iwata S	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌	2013年1月	発達評価バッテリー:プロダクト発信から見た比較	岩田 欧介	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌	2012年	内分泌機能に大きく依存する新生児の循環調節 甲状腺ホルモンと晩期循環不全	岡田 純一郎	小児科
J Clin Endocrinol Metab	2013年1月	Diurnal Cortisol Changes in Newborn Infants Suggesting Entrainment of Peripheral Circadian Clock in Utero and at Birth.	Iwata O	小児科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 坂本 照夫		
管理担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙1)	管理関係 事務部長 近藤 政美	

	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科の 医局資料室 病院資料室 セミアクティブカルテ室 診療情報管理室 外部倉庫 電子カルテシステム	①紙媒体(入院):平成15年4月1日以降に退院した患者の診療録及び診療諸記録に関しては、ID番号を付与しターミナルデジット方式にて診療情報管理部及び外部倉庫で保管。エックス線写真は各外来診療科・セミアクティブカルテ室(総合診療棟3階)・各診療科の医局及び資料室で保管。平成15年3月31日以前に退院した患者の診療録及び診療諸記録に関しては、各診療科独自の管理番号付与方式にて各診療科の医局及び資料室・外部倉庫にて保管。(外来):最終受診日から1年以内の診療録及び診療諸記録に関しては、ID番号を付与し、ターミナルデジット方式にて各外来診療科にて保管。1年以上経過した診療諸記録に関しては、ターミナルデジット及び各診療科独自の管理番号を付与し、セミアクティブカルテ室(病院本館西2階・総合診療棟3階)・各診療科の医局及び資料室・外部倉庫にて保管。 ②電子媒体(入院/外来共通) 平成25年10月1日以降に発生する診療録及び診療諸記録は、入院・外来ともに電子媒体に保管。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院管理課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営室及び薬剤部	
	第一規則号第一に掲げる十一の体制第一項の各号及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療安全管理部	

管理担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	鶴田 修
整形外科	志波 直人	循環器病センター	田中 啓之
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		

閲覧担当者一覧

診療科	閲覧担当者氏名	診療科	閲覧担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	鶴田 修
整形外科	志波 直人	循環器病センター	田中 啓之
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の使用に係る安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 22 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・人工呼吸器：患者さんに安全な人工呼吸器療法及び構造、アラーム及び対処法・閉鎖式保育器：保育器管理におさえておきたい基本、その他・血液浄化装置：血液浄化の安全管理、緊急時及びアラーム時の対処について、その他・人工心肺装置及び補助循環装置：安全な取扱い、緊急時の対処法、日常の管理について・除細動装置：基本的な構造及び使用方法、日常点検、注意事項について・高エネルギー放射線発生装置：加速器の構造、治療計画装置の基本操作、医療安全・機器の保守管理等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (有)・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・人工呼吸器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、人工心肺装置及び補助循環装置、除細動器については、年に1回の定期点検及び必要な部品の交換、日常の保守管理を行っている。・CT・MRI・DSA・PET・高エネルギー放射線発生装置等はメーカーと契約して保守点検を行っている。その他のX線装置については、自主点検を行っている。いずれの装置も日常点検を実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・医療機器安全情報については多方面より情報収集を行い、より重要な情報については、医療機器管理小委員会、医療安全管理対策委員会に報告、また、各病棟・外来・関係講座へ「安全情報」として電子カルテ上に掲載することにより院内への周知を行っている。	

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 坂本 照夫
閲覧担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙2) 管理関係 事務部長 近藤 政美
閲覧の求めに応じる場所	第3会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	0.0%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		17,641 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		25,265 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,413 人
	D: 初診の患者の数		28,386 人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。